

平成26年度 東京藝術大学美術学部先端芸術表現科入学試験
第一次試験「素描」問題

■ 問題

1～3のすべてを含むように自由に描きなさい。

- 1、鏡
- 2、鏡に映った顔
- 3、配布したA4の紙1枚

*配布した紙は自由に変形してもよい。

ただし、切る、破るなどをして、2枚以上にはしてはいけません。

■ 補足説明

用紙は縦位置で使用しなさい。

■試験時間 10:30～16:00

昼食時間 12:00～13:00 (昼食時間に試験を続けてもよい)

■配布物

問題用紙、A4上質紙1枚、
鏡、木炭紙大画用紙(イラストボード)1枚、カルトン、
クリップ2個、下書き用紙3枚、画びょう5個

■注意

使用できるのは、黒鉛筆素描に必要な用具一式。
他の受験生に迷惑のかかる行為等を禁止する。

平成26年度 東京芸術大学美術学部先端芸術表現科

入学者選抜試験 第一次試験問題 小論文

【問題1】

課題文1を読み、その論点を整理しつつ、簡潔に要約しなさい。

解答は問1-①の枠内に、400字以上500字以内で書きなさい。

また、この課題文1を踏まえ、あなたとノイズの関わり合いについて自由に書きなさい。

解答は問1-②の枠内に、480字以上500字以内で書きなさい。

(課題文1 中川真『平安京 音の宇宙』(平凡社 1992年)からの抜粋による。
P109 ~ P114)

【問題2】

課題文2、課題文3を読み、それらを参考にしながら、あなたの人生で経験した最も印象に残る音体験、または音風景(サウンドスケープ)についてその内容を具体的に説明し、なぜ印象に残ったのかその理由を論じなさい。

解答は問2-①、問2-②の枠内に1000字以内で書きなさい。

(課題文2はサウンドスケープという概念の提唱者R・マリー・シェーファーがその著書『サウンド・エデュケーション』(春秋社 1992年)の序文の中で、サウンドスケープについて説明を行ったものからの抜粋である。『サウンド・エデュケーション』は序文と課題集からなるが、課題文3はその本の中で設定された100の課題からの抜粋である。)

R・マリー・シェーファー『サウンド・エデュケーション』(春秋社 1992年)

注意

課題文2 P2 ~ P6

※解答はすべて縦書きで書くこと。課題文3 P11 ~ P21

平成 26 年 東京藝術大学美術学部先端芸術表現科
入学者選抜試験 総合実技 1 日目

試験時間：10 時～15 時 30 分

昼食時間：12 時～13 時（昼食時間に解答を続けてもよい）

作品提出：本日 15 時 30 分

問題 1 テーマの設定

配布した過去の新聞記事の中から、あなたが気になる記事を切り取り解答用紙①の枠内に貼りなさい。

※ 解答用紙①の枠内に持参したのりで貼ること。枠内からはみ出さないこと。

次の頁に問題 2 があります。

問題2 (選択問題) プランニングもしくは制作

問題1で取り上げた過去の新聞記事をもとに、あなたの未来、未来の都市、未来の何か等を想像し、2-A (プランニング)、2-B (制作) のいずれかを選択し、指示に従い解答をください。

※いずれの場合も問題1で使用した新聞資料は使ってはいけません。

2-A プランニング

- ・あなたが想像する未来像を原稿用紙に文章で具体的に表現ください。
- ・イラストボードにその計画内容をドローイングください。
- ・タイトル記入用紙に計画内容のタイトルをつけください。

文章表現形式は論文、小説等自由とする。文字数は1000字以内とする。
ドローイングは持参道具を使用すること。

【2-A (プランニング) 材料】

- ・1000字詰め原稿用紙 1枚
- ・イラストボード 1枚
- ・タイトル記入用紙 1枚

※2-B (制作) で使用する材料は使用してはいけません。

2-B 制作

- ・あなたが想像する未来像を以下の材料を使い制作ください。
- ・タイトル記入用紙に作品のタイトルをつけください。

【2-B (制作) 材料】

- ・提出台 幅45cm×奥行45cm
- ・スチレンボード 8枚 (7mm厚2枚、5mm厚2枚、3mm厚2枚、1mm厚2枚)
- ・竹ひご60cm 5本
- ・スチのり2個 (スチレンボードの接着に使用します。)
- ・マスキングテープ1個
- ・タイトル記入用紙 1枚

※サイズは幅45cm×奥行45cm×高さ60cmの提出台の上に収めること。

※2-A (プランニング) で使用する材料は使用してはいけません。

※総合実技2日目に、自分で提出台を持って作品を移動させます。

注意事項

※試験終了後、この問題用紙を回収します。

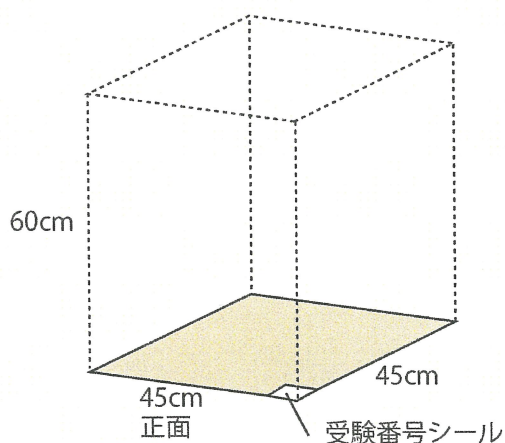
※総合実技1日目の解答は、総合実技2日目に1分程度で説明してもらいます。

問題2 2-B (制作) についての補足説明

配布された提出台の上に下記図の範囲 (幅45cm×奥行き45cm×高さ60cm) に収まるように制作すること。

正面位置の右手前に受験番号シールを貼ります。

受験番号シールは試験終了60分前に配布します。



配布物

- ・問題用紙1部 (4枚綴り、この用紙)
- ・解答用紙1枚
- ・新聞紙 (読売新聞、各年4頁ずつ。2013年、2009年、2004年、1999年、1994年) (1,2,39,40頁) (1,2,31,32頁)
- ・メモ用紙 3枚 (1,2,39,40頁)(1,2,39,40頁) (1,2,39,40頁)
- ・カッターマット 1枚
- ・60cm定規 1本

【2-A (プランニング) 材料】

- ・1000字詰め原稿用紙 1枚
- ・イラストボード 1枚
- ・タイトル記入用紙 1枚

【2-B (制作) 材料】

- ・提出台 幅45cm×奥行き45cm
- ・スチレンボード 8枚 (7mm厚2枚、5mm厚2枚、3mm厚2枚、1mm厚2枚)
- ・竹ひご60cm 5本
- ・スチのり2個 (スチレンボードの接着に使用します。)
- ・マスキングテープ1個
- ・タイトル記入用紙 1枚

試験開始後、配布物に不備がないか確認してください。